

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1. 日時 令和7年7月31日（木）18時00分～20時30分

2. 開催方法 対面

3. 学校運営協議会（定時制部会）名簿

- | | | | |
|----|--------|----|-----|
| 1) | 会長 | 岩野 | 豊治 |
| | 副会長 | 大堀 | 彰子 |
| | 委員 | 吉岡 | 哲郎 |
| | 委員 | 吉澤 | 省之 |
| | 委員 | 鈴木 | 健仁 |
| | 委員 | 福岡 | 千晶 |
| 2) | 准校長 | 安達 | 武史 |
| | 教頭 | 中村 | 有希 |
| | 教務主任 | 野口 | 結衣 |
| | 生徒指導主事 | 坂下 | 一輝 |
| | 進路指導主事 | 山川 | 恵美子 |

4. 議事内容

- 1) 准校長挨拶
- 2) 委員・事務局の紹介
学校運営協議会委員は3名欠席（議事は成立）
学校運営協議会事務局は1名欠席
今年度から、委員として新たに保護者の鈴木健仁様が参加
- 3) 会長・副会長選任
会長に岩野様、副会長に大堀様が選任
- 4) 会長挨拶
- 5) 学校運営協議会の実施要項
- 6) 学校経営計画・評価報告
- 7) 学校の現状及び課題
- 8) 協議「本校の現状と課題を踏まえた今後の在り方」
- 9) 事務連絡
- 10) 閉会挨拶

5. 決議事項

- 〔1号議案〕 令和7年度学校運営協議会 委員、事務局員と会長・副会長の選任
- 〔2号議案〕 令和7年度学校運営協議会 実施要項について
- 〔3号議案〕 令和6年度学校経営計画及び学校評価について
- 〔4号議案〕 令和7年度学校経営計画及び学校評価について
- 〔5号議案〕 令和7年度教科用図書の選定について
- 〔6号議案〕 第1回学校運営協議会資料について
- 〔7号議案〕 各部からの報告について（資料5～7）
- 〔8号議案〕 協議「本校の現状と課題を踏まえた今後の在り方」について
- 〔9号議案〕 学校運営協議会の今後の実施予定について（資料8）

なお、上記〔1号議案〕～〔9号議案〕は、全委員の賛成により承認された。

6. 協議

委員からの意見

◆委員 A

娘が不登校を経験した後定時制へ進学し、少しずつ成長している姿を見ている。欠課数の説明や進路選択における複数の選択肢の提示など、生徒に寄り添った柔軟な指導が安心感につながっていると感じる。また、小さな成功体験の積み重ねが、生徒のキャリア形成にも結び付いていると実感している。

委員 B

懲戒指導件数の少なさに驚くとともに感心した。自由な学びの場を設計することは難しく、単に「自由にしていよう」とするのではなく、生徒が選択しやすい環境づくりが重要である。「自由にやっでござん」という言葉は、生徒にとって負担になることもあるため、複数の選択肢を提示し、その中から自ら選べる自由を保障することが大切である。

委員 C

懲戒指導件数が少ないことは驚くことではなく、喜ぶべきことである。25年前、自身が在籍していた頃は、生徒が自動車で通学することも認められており、授業後には教職員が火ばさみとバケツを持って学校周辺の吸い殻拾いを行っていた。その後、自動車通学は禁止されるようになった。現在では、たばこは高価な嗜好品となっているが、少数ながら喫煙する生徒もいる。

◆委員からの質問

- (1) 懲戒指導件数は少ないが、その中で見られる暴言の背景にはどのような心理的要因があるのか。

- (2) 18歳選挙権に関連して、生徒の政治的教養や選挙への関心はどのような状況か。社会に近い立場にいる定時制の生徒だからこそ、政治参加への意識を育てる教育が重要であると考える。
- (3) ボランティア同好会ではどのような活動を行っているのか。
- (4) 教職員にとっての仕事のやりがいや、この仕事への思いについて。
- (5) エピペンとはどのようなものか。

◆事務局からの回答

- (1) 生徒の問題行動の多くは一時的な感情の高ぶりによるものであり、継続的な問題行動に発展するケースは少ない。生徒一人ひとりの状況を踏まえながら、適切な言葉の使い方について共に考える指導を行っている。また、アルバイト経験なども活用し、社会生活にふさわしい言葉遣いを学ぶ機会としている。
- (2) 政治・経済の授業において選挙に関する教育を実施している。授業では「選挙ドットコム」のマッチング診断を活用し、自分の考えに近い政党を知る機会を提供している。こうした体験的な学習を通して生徒の関心を高めており、実際に期日前投票に行った生徒もいた。
- (3) 夜回り清掃や子ども食堂の支援活動などを行っている。生徒会主催の夜回り清掃に参加した生徒から「もっと活動したい」という声上がり、それをきっかけに活動が活発化した。現在は放課後に教員とともに校内外の清掃活動を行うほか、昨年度には子ども食堂の運営補助にも参加した。
- (4) 本校には多様な背景や価値観を持つ教職員がおり、それぞれが異なる場面でやりがいを感じている。授業づくり一つをとっても自由度が高く、教員の創意工夫を生かしやすい環境である。定時制教育は「教育の原点」ともいえるものであり、ICTの活用や個別最適な支援など、他校に先駆けて取り組んでいる面も多い。
- (5) エピペンは、アナフィラキシーショックが発生した際に使用する緊急用自己注射器である。本校には各学年にアレルギーを有する生徒が在籍しており、緊急時に適切に対応できる体制を整備している。

7. 学校運営協議会の今後の実施予定について

- ・ 第2回：10月中旬～11月上旬（授業見学予定）
- ・ 第3回：1月下旬～2月中旬（活動報告・アンケート）